

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月23日

【評価実施概要】

事業所番号	3870201179		
法人名	医療法人 陽成会		
事業所名	グループホーム ヒロセ		
所在地	愛媛県今治市国分7丁目4番36号 (電話) 0898-43-6662		
管理者	山之内 正美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年7月5日	評価確定日	平成20年7月23日

【情報提供票より】 (平成20年6月5日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年5月10日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	14人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.6人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	1,300/1日 円	その他の経費(月額)利用状況により異なる	
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成20年6月5日現在)			
利用者人数	18名	男性 0名	女性 18名
要介護1	6名	要介護2	5名
要介護3	3名	要介護4	3名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 84.7歳	最低 75歳	最高 99歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・なし	短期利用共同生活介護		
加算 あり・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

調査訪問時、職員は、利用者から地元の郷土料理「いぎす豆腐」の作り方を教えてもらっていた。利用者は「作ってみたいね」と職員に話しておられた。  
 毎月、食事会の日を設け、利用者の希望を聞き、メニューを決め、利用者とともに食材の買い物、食事作りをされ、利用者とともに食べておられる。又、毎月、外食に出かけておられる。  
 体操の時間を設けておられる。小学生の下校の時間には、利用者の方数名がホームの外に出て、子供たちを見守っておられる。生け花の先生をされていた方が生花を活けて下さり、玄関や居間に飾っておられた。刺し子で布巾を作り、ご家族や職員にプレゼントされる方もおられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて改善計画書を作成し、職員の研修の機会を増やされ、職員のレベルアップを図られた。又、毎月、自己評価項目の中から数点項目を取り上げ目標に定め、職員で意識して取り組まれている。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果をもとに、職員は振り返りをされ、その結果を踏まえて主任が自己評価を作成された。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時、事業所での活動の報告をされている。又、認知症について知識を深める話し合いや意見交換等も行われている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・少なくとも毎月1回、ご家族の来訪があり、ご本人の日頃の様子を口頭で報告されている。又、毎月、家族会の日(ファミリーデー)を設けておられ、数人のご家族が事業所を訪れておられる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・近隣の保育園では、利用者の方が散歩の途中に休憩できるよう、ベンチを置いて下さっている。又、保育園の園児達も事業所の中庭に遊びに来てくれる等、交流されている。又、自治会の井出掃除やお寺の草引き等に職員が参加されたり、自治会の会議時には職員が出席し、事業所の活動を報告されている。

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム ヒロセ

(ユニット名)

1F もくれん

記入者(管理者)

氏名

山之内 正美

評価完了日

平成 20年 6月 5日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「その人らしい生きがいのある心地よい今」を理念に掲げ、その人らしく生活していけるよう日々のケアと関連付けている。		地域住民に信頼され、いつでも安心して介護サービスを受けられる事業所を目指します。利用者様の人権を尊重し、利用者様中心の介護を提供します。地域福祉の向上を目指して職員の研鑽、研修に努めます。
			(外部評価) 法人の基本理念をもとに、事業所でも理念を作っておられる。		さらに、貴事業所が地域密着型サービス事業所として、地域の中でどのようなことを目指していくのかということについても、具体的に話し合われてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) いつでも思い起こせるように、ホール内に額を掲げている。「和」と「誠意」をもって寄り添い、日々実践しながら取り組んでいる。		医療法人陽成会の基本理念『相手を思いやる「和」の心と、患者さんに「誠意」をもって接する』を基本に、毎日朝礼時挨拶の行動指針の実行に努めています。
			(外部評価) 職員の名札の裏に事業所の理念を明示し、職員個々が日常的に確認できるようにされている。又、朝礼時には職員で理念を唱和されている。		さらに、理念を実践につなげていけるような話し合いが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 地区の代表の参加による運営推進会議又、家族会等でホームの取り組みをお伝えし、理念の実現に努めて実行している。		自治会や地域老人会との交流をして、グループホームの理念や役割を理解してもらうようにする。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時の保育所やホーム中庭での園児さんとの交流、散歩中の老婦人との挨拶、学生さんとの挨拶、近隣の方との立ち話、お花を頂くなどの交流がある。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 桜井校区の新入生(1年生)の下校時の見守り、声掛けなどの交流を行っている。 又、桜井中学校インターンシップでの交流も行っている。 (外部評価) 近隣の保育園では、利用者の方が散歩の途中に休憩できるよう、ベンチを置いて下さっている。又、保育園の園児達も事業所の中庭に遊びに来てくれる等、交流されている。又、自治会の井出掃除やお寺の草引き等に職員が参加されたり、自治会の会議時には職員が出席し、事業所の活動を報告されている。		地域の文化祭、盆踊りなどの招待があるので参加していきたい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 国分総代や地域の高齢者に行事参加への呼びかけをしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価表は身近に置き、月の目標に掲げ、問題意識を持ち、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 前回の評価結果をもとに、職員は振り返りをされ、その結果を踏まえて、主任が自己評価を作成された。前回の評価結果を受けて改善計画書を作成し、職員の研修の機会を増やされ、職員のレベルアップを図られた。又、毎月、自己評価項目の中から数点項目を取り上げ目標に定め、職員で意識して取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>地域の代表者の参加もあり、招待を受けているものには積極的に参加し、地域とのつきあい交流を勧めている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>会議時、事業所での活動の報告をされている。又、認知症について知識を深める話し合いや意見交換等も行われている。</p>		
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>今治市高齢福祉課担当者に運営推進会議に出席してもらい意見をもらっています。又、居宅介護支援事業所のケアマネージャー等地域包括センターと情報交換をすることで質の向上に努めている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>運営推進会議に市の担当者に出席いただき、意見交換をされている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>現在財産管理、運用に対する問題のある方はおられないが、必要に応じ資料による説明を準備している。又、居宅介護支援事業所や在宅介護支援センターと連携をとっている。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>物理的、精神的虐待があることを認識し、言葉による拘束は虐待の一部だと認識し、心地よい生きがいのある、その人らしい今の実現の理念を追求する。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 担当ケアマネージャーと十分な話し合いを持ち、助言を受けながら入居の十分な検討をし重要事項説明書にて、ご家族にホームの説明を行っている。又、現地見学等も行ってもらい、十分納得をさせていただいた上で契約締結している。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情ノートに記録し、職員全員に周知徹底しサービスの改善に努めている。又、これらを陽成会の事務所へ報告するシステムになっている。職員としてできること、ご家族と協力することを検討し反映させている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時・家族会で近況報告を行っている。職員の異動については面会時に職員が挨拶することで報告となっている。又、個々の状況に合わせて担当者より報告するようにしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱・アンケートを実施し、職員全員に周知徹底し、サービスの改善に努めている。運営推進会議にご家族にも出席してもらい意見の反映に努めている。		さらに、ご家族が定期的に知りたい情報について、聞き取ってみてはどうだろうか。例えば、食事のことや職員の紹介、又、利用者の日頃の様子や事業所のケアへの取り組み等、ご家族の立場に立って、報告や便りを工夫されてみてほしい。
		(外部評価) ご家族の来訪時や電話で要望や意見をうかがうようにされている。又、家族会時に、運営推進会議で話し合われたことについて、報告をされている。			「お世話になっているのでこれ以上望んでは迷惑ではないだろうか」等のご家族の心情も踏まえて、意見や要望を引き出す工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  全体会、陽成会連絡会に参加し運営に参加する体制となっている。		グループホーム内でのミーティング、法人で行う運営委員会等、定期的に提案する機会を設けている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  勤務表により対応できる体制を整えているが、緊急時は主任中心となり調整をしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  2ユニット内の一部異動であり、全体を知ることや質の向上、自己研鑽に努め、ユニット交流をしている。  (外部評価)  職員が異動して来られた際や新しい職員が入った際には、利用者へ自己紹介をされている。		ユニット間の異動や新しい職員が入った際、利用者との関係作り等、信頼関係を作っていけるような取り組みが期待される。職員のチームワークを作っていけるような取り組み等も期待される。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  グループホーム協議会東予地区研修・在宅介護支援センター研修・認知症研修などの研修に参加している。又、法人内病院関連施設等、合同ミーティング・報告会をして、ケアの向上に努めている。法人内で行う資格取得の為のセミナー等にも参加している。  (外部評価)  母体法人での研修や事業所内でのミーティング、外部研修等にも積極的に参加されている。職員は、外部研修に参加し、リスクマネジメントの知識を深められ、事故再発防止への取り組みの大切さを感じておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>東予地区での研修会に参加し、意見・情報交換をしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>市内のグループホームの集まりに参加されたこともある。又、県GH連絡協議会の研修に参加され、他の事業所とともに学ばれている。</p>		<p>市内の他事業所とのネットワーク作りに向けての1歩すすめた取り組みが期待される。交流できるような機会を作り、意見交換されたり、協力し合えるような体制を作っていかれてはどうだろうか。</p>
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>隣接の介護老人保健施設に相談できる体制を整えている。 法人内他施設と合同で親睦会などを行っている。</p>		
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>外部研修・内部研修参加の推進や、研修報告をすることで自己研鑽を積むことの機会となっている。 又、資格取得の機会を与えている。</p>		
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>入居時、利用者様と面接し十分相談・内容を聞いて受け取る努力をしており、又担当ケアマネージャー・ご家族との連携で、スムーズな入居となるよう努めている。</p>		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族でホーム見学をして頂き、生活の場である事を理解した上で利用していただく。 ご家族にもなるべく訪問に協力してもらい、利用者様・ホーム家族との信頼関係を構築している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 担当ケアマネージャー・ご家族との連携で正しい見極めができるように努めている。 真にグループホームでのサービス提供がふさわしいのか相談を十分行っている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にながら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご家族でホーム見学をして頂き、ケアマネージャーと連携をとり生活の場である事を理解した上で利用していただく。 又、現在の生活環境を職員が十分知った上で、ホームでのサービスに慣れてもらうよう徐々に環境を整えていっている。 (外部評価) 入居前にはご本人・ご家族に見学いただいている。入居後も、お友達と手紙のやり取りをされている方もおられる。時々、ご自宅に戻り、泊られる方もある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩としての関係を持つことを心がけて接する。 家族的な関係を少しでも築くよう努力し、お互いの空間を共有して、支え合う関係を構築していくようにしている。 (外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者から地元の郷土料理「いぎす豆腐」の作り方を教えてもらっていた。利用者は「作ってみたいね」と職員に話しておられた。		今後さらに、利用者との関係作り、又、利用者同士の関係作りへの支援が期待される。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時にはホームでの生活状況をお話し、情報を共有するようにしている。 同じ目線で日常生活に寄り添うよう、お互いの関係を大切にしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご家族のこれまでの背景の上でより良い関係が築かれるよう、ホームでのエピソードを交えてお伝えするようにしている。 又、ご家族が訪問する機会を少しでも増やすよう話題作りをご家族と連携している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 個別的な場所に関してはご家族の方のご協力を得られるよう声掛けをしている。 ご本人さん、ご家族とも相談して知人等馴染みのある方や生活環境に関わられた方、趣味を通しての知人等は面会の機会を作り、関係が途切れないうにしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 2ユニットで利用者様のいいところをアピールするよう心がけ、個性を尊重した良い関係作りに努めている。又、行事等を通して交流会を行っています。		折り紙の介助を行うことで、利用者様同士の関係作りができ、共同で千羽鶴を作ることができ、みんなで満足感を得ることができた。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 現在退居となった利用者様・ご家族との継続した関わりはあまりないが、ホームとしては必要により関係を継続してもらうように利用者様やご家族にはお話し、付き合いを大切にするようにしています。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) アセスメントを行い、把握している。 テーマをつくり、アンケート(コミュニケーション)をとりながら深層心理を少しでも知り、精神の安定に努めている。 又、全職員が利用者様一人ひとりの意向を把握するよう努力している。		
			(外部評価) 職員は、利用者との日頃の会話の中等からご本人の意向を聞き、把握に努めておられる。		さらに、ご本人が意向を表しやすいよう、対話や場面作りの工夫が期待される。又、日々得た情報を職員で共有し、介護計画につなげていけるような取り組み等も期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にご家族に生活歴をお聞きし、これまでの暮らしの把握に努めている。 全職員が生活歴を十分把握し、日々のサービス利用に役立てるよう努力している。		
			(外部評価)		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 全職員が、ユニット内の利用者様の現状把握に努めている。		高齢者なので、ある日突然に心身状況が変化することがあることを認識して、一人ひとりの現状把握を行っている。
			(外部評価)		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 毎日の気付きを書くシートをケアプランに連動できるシートに使用し、カンファレンスを今の問題からずれないよう工夫している。 介護計画と日常ケアとを十分経過観察に努めている。		定期的カンファレンスを実施して現状を理解して、常に利用者様の側に立ったケアを行うよう努力している。
			(外部評価) 日頃の会話からご本人の希望を聞き取り、実現に向けてご家族と話し合っておられる。職員の気付き等も採り入れ、介護計画を作成しておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			3ヵ月の実施期間とし、見直しを行う。状態変化があった場合は、その都度見直しを行っている。 ご本人さん・ご家族の意向を取り入れたプランとなるようケアプランの実行状況等を行っている。		
			(外部評価)		
			定期的な見直しと状態の変化時に随時見直しておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			フロア業務の伝達、個別伝達と区別し、ユニット内で情報を共有しケアを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			隣接の介護老人保健施設との交流をし、柔軟な支援を行っています。歯科衛生士・作業療法士・理学療法士・健康運動療法士・言語聴覚士・管理栄養士等のアドバイスを受けられる体制であり、よりいっそうの自立支援を行っていきたい。		
			(外部評価)		
			併設の法人施設の大浴場を利用される方もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 隣接する介護老人保健施設での催し物(ボランティアの行事も含む)の参加をして充実感を味わっている時間を持っている。 又、定期的に消防署立会いにて、災害訓練を実施している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 担当ケアマネジャーやホームスタッフ・ご家族の支援でご本人さんを支えている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域福祉権利擁護事業や成年後見人制度のパンフレットを利用し、支援センターの活用を呼びかけている。		ご家族の支援で支える事ができているが、必要に応じて検討していく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 関連医療機関である広瀬病院・広瀬クリニックの受診、又緊急時の対応が確保されていることの安心感があり医療体制が整っている。 (外部評価) 母体病院の医師が往診に来られた際には、全利用者に声をかけておられる。入居時、かかりつけ医について相談をされている。		かかりつけ医との連携をよりいっそう取り、医師・ご家族・スタッフが情報を共有し、安心感をよりいっそう強いものにしたい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医との連携を取っている方は現在はいないが、個々の状態に合わせ、ご家族に説明しアドバイスを含め、必要に応じて専門医の案内の提案をしていくようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 訪問看護ステーションと連携を取り、ホームの看護職員とともに日常の健康管理をしている。 又、広瀬クリニック・在宅支援診療所との連携をとっている。 24時間医療連携も可能な支援をしています。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院との情報提供等を密にして、治療の方向性を見てご家族と検討を行っている。 退院後は速やかにサービス利用ができるよう連携を取っている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 契約時に説明を行い、意向を伺うようにしている。 今現在は、かかりつけ医である入院治療を希望されている方が多い。  (外部評価) 入居時に看取りや重度化に対して意向をうかがうようにされている。母体病院の医師やご家族とも話し合い、事業所で看取られた事例もある。ご家族の協力を得て、職員が方針を共有し、取り組まれた。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 現在、当ホームは真にグループホームでのケアが必要な利用者様が多く、重度化・終末期はニーズによって関連施設で療養されたい方又、家庭復帰等を考え、かかりつけ医と共に支援を行っている。 重度化の防止は、訪問診療・訪問看護の支援を受け、落ち着いた生活が送れている。		利用者様やご家族のご希望があれば、ターミナルの利用も十分可能であり、今迄も終末期ケアに取り組んだ経験があります。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 現在入居され、精神の落ち着きが見られており住み替えの検討をする場面はないが、ご家族と話し合いをしながら進めていくことを基本としている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 入居時十分に利用者様のご希望を聞き、日々の支援で個人情報取り扱いに十分気を付けている。 一人ひとりを尊重した言葉かけを心掛けている。 記録物の取り扱いについては十分気を付けている。		
			(外部評価) トイレ介助や入浴時等には、特にプライバシーに配慮した対応を心掛けておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 分かりやすい声掛けを行う。 言葉の表出ができない方には、職員が相手のことを思いやる(気持ちにくむ)姿勢での対応が必要となっている。 職員それぞれのコミュニケーション方法で、いい人間関係を保っている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その方の動きを優先し、それに添うケアを心掛けるよう努めている。 集団的な処遇は一切行わず、個人の希望に沿った過ごし方を行っています。		個別ケアの時間で、本の読み聞かせ、お話の支援で、その人らしい時間づくりをしている。
			(外部評価) 利用者は、事業所内でテレビを見られたり、居間や居室でくつろぐ等されていた。		事業所の理念等も踏まえ、利用者一人ひとりの思いを探り、支援につなげていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 顔を見ること、髪を整えること、姿の意識付けをするよう声掛けをし意欲が出るよう努めている。理容・美容は利用者様の希望で好きな店に行けるようにしている。 又、訪問理美容も来ているので希望により利用してもらっています。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一応の満足は得られており、食事風景・後片付け風景からは心地よい食卓と考えられる。  (外部評価) 毎月、食事会の日を設け、利用者の希望を聞き、メニューを決め、利用者とともに食材の買い物、食事作りをされ、利用者とともに食べておられる。又、毎月、外食に出かけておられる。		定期的に嗜好調査を実施して利用者様のニーズを知り、食への支援をしていきたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 10時・15時のお茶の時間を楽しみにされており、頂いたお菓子や果物等をみんなで分けていただき、甘い物がみんなの気持ちを穏やかにしている場面も見られる。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) それぞれの排泄状況に合った声掛け、又気持ちよく介助が受けられる対応の仕方がそれぞれに確立している。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			希望に応じた入浴を基本とし、マンツーマンで対応して楽しい時間となっている。 なるべく入浴時間も利用者様の希望に沿った時間になっている。		
			(外部評価)		
			併設施設の大浴場を利用されている方や、事業所のおふるで仲良しの方同士で入られる方もいる。入浴時間は、利用者と職員のおしゃべり等、楽しい時間となっている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			毎食後等、休憩したいときには居室にて休んでもらっている。 ご本人さんのペースで体調を観察し、個別に対応している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			もくれん仲間の歌を作って歌っている。 9名様様の生活をズンドコ節の替え歌にしたもので入居者同士のコミュニケーションに役立っている。 中庭の木陰でのお茶の時間は、気晴らしとなっている。		
			(外部評価)		
			体操の時間を設けておられる。小学生の下校の時間には、利用者の方数名がホームの外に出て、子供たちを見守っておられる。生け花の先生をされていた方が生花を活けて下さり、玄関や居間に飾っておられた。刺し子で布巾を作り、ご家族や職員にプレゼントされる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			ご家族とも相談しながら小遣い帳の取り組みを行っているが、個人の管理能力にやや差があり、小遣い帳を使用していない方にとっては、負担となっているようであるが、共に過ごす時間を増やすことで安定している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			その日、その時の希望でホーム周囲の散歩の介助を常時行っている。		
			(外部評価)		
			事業所周辺を散歩されている。又、季節を楽しみにドライブに出かける機会も作っておられる		利用者個々が行きたい場所や、懐かしい場所等にも出かけてみるような機会を作ってみてはどうだろうか。利用者個々が日常的に地域資源を利用しながら、生活できるような支援も期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			病院の受診に行かれた後、体調に応じて野外で季節感のある場所へ寄り、外食をご家族と楽しめることもある。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			不安時に家族・知人との電話で落ち着かれる。年賀状等の支援。機会があれば手紙やハガキも書いて頂いている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			お茶を飲みながら同時間を過ごして頂き、入居生活の出来事をお話するようにしている。訪問・外出などの統計をとって連携の把握をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 利用者様個人の状態の把握をし、精神的拘束にも気を使い、見守り・声掛けで取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日々利用者様と接する事で、個々の心理状態の変化をいち早く気づけられるよう職員が意識している。 (外部評価) 法人では安全を守ることを第一に考えておられ、ご家族とも相談の上、職員の忙しい時間等には、時々ユニット入口のドアに鍵をかけることがある。		鍵をかけることの弊害について、職員で話し合ってみてはどうだろうか。又、鍵をかけずにすむ工夫についても話し合いを重ねていかれることが期待される。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 寄り添うことで個々の心理状態にいち早く気づけられるよう配慮している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬は鍵のかかる場所に保管してある。 刃物、洗剤は所定の場所へ保管してある。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 緊急時マニュアルに添って行う。 忘れないよう定期的に意識付けをする。 職員一人ひとりが自己責任原則を基本として、事故防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時対応マニュアルを作成し徹底。 勉強会も行っている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 自治会の集会に参加し、協力依頼を行うとともに、毎月10日を「防災の日」としイメージトレーニングをしている。 地域自治会へも協力いただくことを、地域の諸会合の時にお願いしている。 (外部評価) 地区の消防団の方に協力依頼をされている。法人内の施設で連携を図り、いざという時には協力し合えるよう話し合われている。事業所でも利用者とともに避難訓練を行っておられる。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 個別の状況に応じた、考えられるリスクを含め生活状況はご理解頂けるよう情報提供を共有し、ご本人さんにとって一番よい環境作りに努めている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々のバイタルチェックの実施、治療の必要性、経過観察の見極め、活気、普段との変換に注意を払い申し送り情報共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服チェックの担当を決めている。薬剤師からの処方ファイルは全職員が十分チェックするようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維の多い食事、適度の運動。 朝食後時間をとり、噛むなどの観察、見守り、声掛けが必要となっていて効果がある方も見られている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 協力歯科医師による口腔内を清潔にする口腔ケア研修会を開催し多職種間とも全員が口腔ケアを実施して感染症予防に努める。 歯科衛生士の口腔ケアの個別指導を行っている。 又、看護・介護職員が口腔ケアの知識の向上に努めています。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人バイタルチェック表にて把握している。 又、体重測定でBMI値を出し、体重変化を把握している。		
			(外部評価) 体重が増加傾向にある方は、説明して主食を少し減らすようにされている。夜間は、利用者個々にペットボトルにお茶を用意し、トイレで起きられる際には、職員が声をかけ、水分摂取を促しておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 玄関に消毒液の設置。マニュアルでの勉強を行う。 感染予防の勉強会に参加し、予防・対応している。 職員はもちろん利用者様への手洗いの励行を徹底している。 場合によっては来訪者、ご家族へも感染予防についてご協力いただいています。		インフルエンザや腸炎流行時の面会・食品の持ち込み制限等に協力していただいています。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 毎日、新鮮な食材を一日分毎に調達し、冷蔵庫管理、使いきりを心掛けている。 食器乾燥機の使用、布巾消毒をマニュアルに示し行っている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 玄関前にはベンチがあり、近所の方が立ち寄り休憩できるスペースや草花のプランターを配置し、家庭的な生活空間に配慮している。 利用者様と共に手入れをしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 畳コーナーや窓辺に座り、中庭の季節の草花を見ながらの日光浴を楽しまれている。 夜間ナースコールを遠慮されるため、鈴等も利用して対応している。</p> <p>(外部評価) 事業所内には、ご家族の来訪時に談話ができるようなスペースも設けられている。居間にある畳のスペースでは、洗濯物を畳んだりされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 対面式の台所は、みなさんの様子を見ながら声を掛け合い、和やかな雰囲気を作れている。 又、居間の一角にテレビ・ソファを設置し、自由に過ごせるようになっている。 2Fロビーは、1F2Fの共同空間として居場所作りとしても工夫して使用してもらっています。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ご家族を交え、周辺症状が少しでも和らいで頂けるよう話し合いをしたり、改善をしている。		
			(外部評価)		
			ベッドや収納が事業所で用意されている。馴染みの椅子やご家族の写真、仏壇がある部屋もうかがえた。		利用者が暮らしておられたご自宅の部屋の様子を探る等、さらなるご本人の居心地のよい空間作りに向けて、ご本人とも相談しながら、しつらえの工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			マニュアルに示し、時間を決めて窓の開閉や換気扇に行っている。 又、随時気配りをしている。 空調は温度に十分配慮して、こまめに外気温により調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			バリアフリーで安全に動けるようにしてある。 室内での物干しは足元が不安定な利用者様には重宝されている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			できる事できない事の見極めをし、利用者様ごとにケアプランにあげ、場面づくり・見守りのケアの中でスタッフが観察しながら一緒に環境作りを実施している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物周辺にベンチを設置し、利用者様と洗濯干し・玄関掃除・水撒き等活動を行っている。 芝生の庭で日光浴散歩をしたり、一部畑での野菜作りやお花等も利用者様のニーズに合った活動を行っています。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者様への気付きのシート・アセスメント(私の気持ちシート)を記入し、職員は情報を共有し、意向を掴んだケアを行っている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	談話の時間が午前10時と午後3時のお茶の時間にあり、その節昔話や童謡など回想されたりと利用者様と職員の交流を図る。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事後の休憩・TV・ラジオ・散歩・日光浴・お茶の時間等、ゆったりとした時間が流れており、利用者様個々のペースで穏やかな時間作りをしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員との人間関係は、安心感を得るものとなっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のように畑や中庭のベンチに散歩をしており、花を摘んだり日光浴をしたり季節感を味わい、良い時間を過ごされる。 又、利用者様ごとの希望も取り入れ外出の機会をつくっている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力病院のバックアップがあり、安心感が得られているとかがえられる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外出願望時には寄り添い、中庭を散歩したり、家事等をして落ち着いて頂いたり、気分転換をしていただくようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族会や面会の機会に、ホームの生活の状況をお話し、情報の共有を行っている。信頼関係は持っていると考えられる。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	保育所の園児さんに中庭に寄っていただいたり、散歩中の老婦人との挨拶、学生さんとの挨拶など、玄関ベンチは良い場所となり、あらゆる機会に気軽に立ち寄っていただけようになっている。通学時の小中学生への挨拶・声掛けをして地域とのコミュニケーションを行っています。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	2 ヶ月毎の実施をしており、グループホームヒロセの取り組みへの理解を深められていると考える。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	認知症ケアの難しさ・楽しさを味わいながら生き生きと仕事に取り組んでいる様子が伺える。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居して穏やかになっている。表情がいいとの言葉を頂いており、概ね満足して下さっていると考えます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時・家族会時にコミュニケーションをとり、利用者様の状況を共有するようになり、信頼感が持っており概ね満足されていると考える。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

○寄り添うケアを基本とし利用者様の一步を大切にされた支援を行っている。

○利用者様同士の関係作りにも注意を払い、入居生活が心地よいものになるような声掛けを行っている。

○利用者様とご家族にとって母体の陽成会の広瀬病院・広瀬クリニックと連携をとり、訪問診療・訪問看護のバックアップが24時間とれる体制を整えて、医療面・安全面での安心感を持っていると考える。